

株式会社キングジム様

◆導入時期 2003年3月

◆導入ライセンス数 500

株式会社キングジム
情報システム部

部長 山田 茂行 様

株式会社キングジム
情報システム部 システム管理課

井上 尚嗣 様



商号：株式会社キングジム
 設立：1948年8月(昭和23年8月) <創業 1927年4月(昭和2年4月)>
 本社：東京都千代田区東神田二丁目10番18号
 代表：代表取締役社長 宮本 彰
 資本金：19億7800万円(2002年6月現在)
 事業：文具および事務用機器の開発・製造・販売、他
 事業所：工場3、営業所・出張所14、物流センター3

導入の背景

ブロードバンドの導入に伴う「遊び要素」を抑制したい
 そのための仕組みとしてInterScan WebManagerを導入

InterScan WebManager導入の
経緯について語る山田氏

昭和2(1927)年の創業以来、「人と情報活用」をテーマに豊かなビジネス空間と快適環境を創造し続ける株式会社キングジム。ラベルライター「テプラ」やキングファイルを始めとするさまざまな商品を開発し、ステーションリー分野のリーディングカンパニーとして活躍している。

同社がInterScan WebManagerの運用を開始したのは平成15(2003)

年3月。当時の状況について情報システム部の山田茂行部長は次のように語る。「弊社ではこれまで128kbpsの回線で接続を行っていましたが、いまやインターネットはブロードバンドの時代。どのホームページもファイルサイズの大きな画像が貼られるようになり、細い回線のままでは閲覧が難しくなりました。業務に支障が出るようになったのです」

そこでADSL回線の導入を決定したのだが、同時にWebコンテンツフィルタリングも最初から導入することにした。「回線を太くすれば使い勝手は向上しますが、同時に“遊びの要素”が増えてしまうことも否定できません。そこで本来の業務が圧迫されないように、業務に不要なサイトは最初から規制することにしたのです」と続ける山田氏。「もちろん、理屈の上では手動で規制をかけていくことも可能です。しかし、事実上は無数ともいえるWebサイトが溢れかえる現状では、規制URLのデータベースのメンテナンスを自前で続けることはほぼ不可能。そこで、効率的に規制管理する

ための仕組みが必要になり、InterScan WebManagerの導入を決定しました」

導入決定のポイント

操作性から規制URLデータベースの精度まで
 しっかりとした日本語対応を高く評価

導入にあたってはもちろん他のURLフィルタリング製品も検討対象になった。その中でトレンドマイクロのInterScan WebManagerを選ぶ決め手となったポイントについて、情報システム部システム管理課の井上尚嗣氏はこう説明する。「やはり最大の評価点は、日本語への対応がしっかりとしていることです。比較検討対象になった他社製品は英語版しかなかったのですが、InterScan WebManagerはインターフェースが日本語でわかりやすく、様々な設定作業もしやすいというメリットがあります」

さらに規制URLのデータベースの精度に対しても、井上氏は次のように評価する。「他製品のデータベースは海外のWebサイトに関してはそれなりに評価できましたが、日本語のサイトに関してはややルーズな印象を受けました。その点、

InterScan WebManagerのデータベースは日本国内でチェックや更新が目視によって行われており、日本語のWebサイトに対しても非常に厳しく有効な規制効果を期待できました」

操作性からデータ



InterSan WebManagerのカテゴリ管理画面

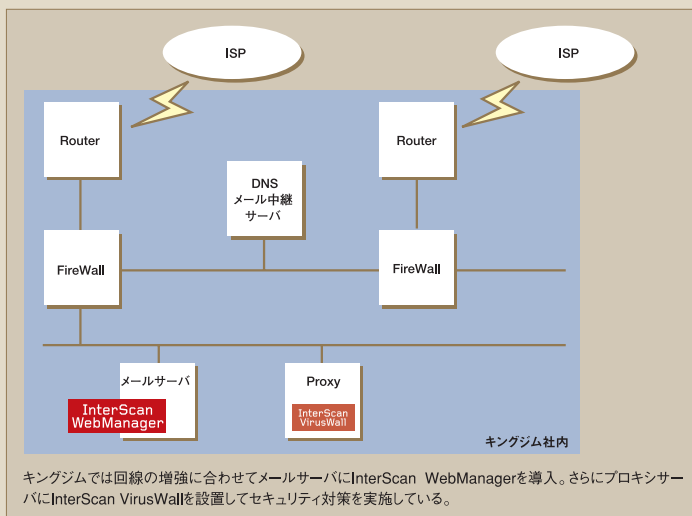
ベース精度の高さまで、InterScan WebManagerの一貫した日本語対応を高く評価。導入決定に至ったと井上氏は語る。

実際の運用状況

ホワイトリストとブラックリストを徹底活用 ユーザ別にきめ細かな設定で対応する

実際の運用を通じて井上氏は、「InterScan WebManagerは、ユーザ別の設定が細かく行える点が非常に優れていますね」と語る。「たとえば、ショッピングカテゴリをすべて規制してしまうと、弊社の製品を扱う販売店のWebサイトも見られなくなってしまいますので、営業スタッフにはここを開放しています。また、同じ営業の中でも、担当別に期間を限定して個別のWebサイトへの接続を許可することもあります。個々の要望に柔軟に対応できるのが良いですね。」

■キングジム ネットワークの概略



InterScan WebManagerの運用性の高さについて語る井上氏

他にも文具関連に限定して掲示板への接続を許可するなど、ホワイトリストを有効に活用することで、きめ細かな対応が可能になっているという。井上氏はさらに、ブラックリストの有効性にも言及。「ポップアップバナーをブラックリストで遮断するようにしているのですが、ヒット率は非常に高いです。かなり効果があると言えるでしょう」

フィルタリングのパフォーマンスについても申し分なく、標準添付のログ分析ツール「LogLyzer」(ログライザー)も十二分に活用。「ほぼ当初の想定通りの利用が行えているのではないのでしょうか」と井上氏は評価している。

今後の展望

社内LANも高速化してより快適な環境を—— カテゴリ分類の充実を期待したい

日本語サイトに対する高精度の規制によってWeb利用における遊びの要素を抑制し、生産性向上に寄与するInterScan WebManagerには、同時にトラフィックの抑制効果もあると井上氏。「ブロードバンドと同時に導入したので以前と比べることはできませんが、実際に規制された件数を見る限りでは、不要なトラフィックをかなり抑えられたと見てよいでしょう。これを踏まえて今後は、社内LANも太くしていきたい」と、より快適なWeb接続環境の実現に前向きである。

また、InterScan WebManagerに対しては、「サブカテゴリなどでさらに細かく分類できるようになると便利ですね」と、実際の運用に基づいて提言する井上氏である。

注目!
こんな活用を
しています

ログ分析の結果を「必要に応じて」全社員向けに報告 解除申請の審査に「オーバーライド機能」を活用するアイデア利用も

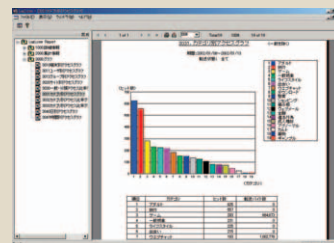
株式会社キングジムにおけるInterScan WebManagerの利用には、その運用状況を全社員に対して周知しているという特徴がある。「まず、インターネットに接続できるように最初に申請する際に、Webコンテンツフィルタリングを行う旨とログを記録する旨を明記。社員にはその事実を踏まえてもらった上でWebにアクセスしてもらっています」と山田氏。

さらに同社では、LogLyzer (ログライザー) によるログ分析を定期的に行っている。「毎月の定例会議で報告し、システム担当役員も目を通します。」全社員向けの月報に運用状況も必要に応じて報告している。

実際に規制にかかるカテゴリとしては、映画や音楽、ショッピングなどの一般娯楽が上位にくるといふ。「こうした分野が規制対象になる

とは、あまり思われていないのでしょう。」と山田氏は指摘する。

その他、同社におけるユニークな活用方法として、5分間のオーバーライド機能を解除申請の審査のために用いる点が挙げられる。「業務に必要なサイトが規制に引っかかってしまった場合、解除申請を情報システム部で受け、実際のサイトを確認して可否を決定します。このときの確認作業に、オーバーライドの機能がまさにうってつけなのです」と、活用アイデアを披露してくれた。



LogLyzerによるログ分析結果表示画面
(画面はトレンドマイクロの提供のサンプル)

【お問い合わせ先】

トレンドマイクロ株式会社

東京本社
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿メインスタワー
TEL 03-5334-3650 (営業代表) FAX 03-5334-6324

◆ InterScan WebManagerの詳細についてはこちらから
トレンドマイクロの製品情報サイト: <http://www.trendmicro.co.jp>

TREND
MICRO